R元塩川小学校　校長室だより　　元年5月13日(月)№1

さわやか



塩川小学校の教師像

きびしくやさしい教師（情熱）

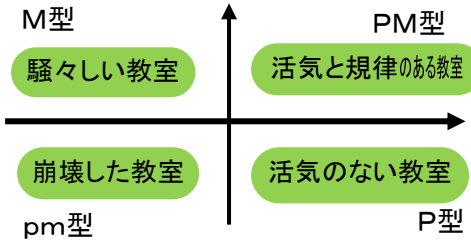
自己目標を持ち、常に研修に励む教師（専門性）

児童・保護者・地域から信頼される教師（豊かな人間性）

よい指導は子どもに力を付けます。よい教師は、自立したよい社会人に育てます。よい指導ができるよい教師であるための本校の教師像は上記の通りです。



自分の指導の特長を知る　～きびしい(P型)？　やさしい(M型)？～



P型は、決まりを重視し、一貫して厳しく指導する教師のタイプです。M型は、子どもの心情に沿った温和で細やかな気遣いができる教師のタイプです。

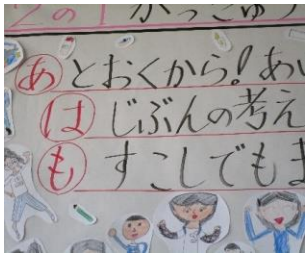
P型とM型が強くバランスのよい「PM型」の指導は、自律的で素敵な子どもを育みます。理想像である「きびしくやさしい教師」そのものです。

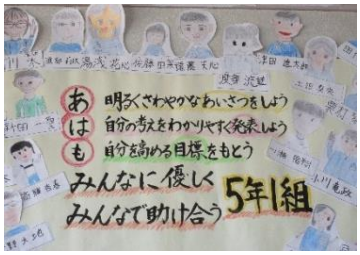
M機能がない、または小さい（ｽﾓｰﾙ m）「P 型」の教師の授業は、子ども達はおとなしく授業を受けていますが、発言や活動が少ない静かな授業になっています。

P機能がない、または小さいM型の指導をする教師の学級は、けんかやけがが多く騒々しく汚い教室になっていく傾向にあります。さて、自分はどの型の傾向にあるのでしょうか？自分の学級はどの型に近いのでしょうか？この時期に振り返って、今後の指導のあり方を考えてみることも必要と思います。

なるほど！　どうして！　これはありがたい！　う～ん！　いろいろ感じさせられた指導技術！！

「あんな先生になりたい。」「あんないい子ども達をどうやって育てたんだろう。」と思う先生の教室を意識して見ていました。先週、校舎巡視をしていて、その頃の気持ちを思い出しました。

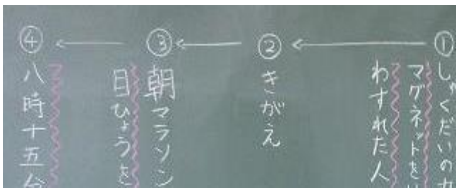






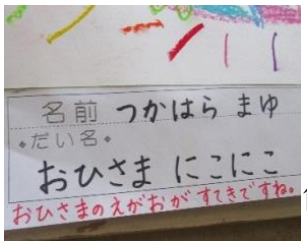
学校目標「あ・は・も」からおろした学級目標と、個々の目標です。目指す方向を同じくすることは子どもも教師も「チーム塩川」を具現する第一歩です。





子ども達へのあいさつと共に、朝の動きを板書していました。主体性を高める、全員が望ましい行動をとれるという意味でとても有効です。







↑作品に画鋲を刺さない工夫

あたたかな評価と、子どもの作品を大切にする掲示の仕方。習字には、朱を入れ「掲示教育」に高める。





空想画の指導は難しい。どうやって想像を膨らませたのだろう。そして、椅子がきれいに入って整然と並んだ机（放課後の教室風景）。